



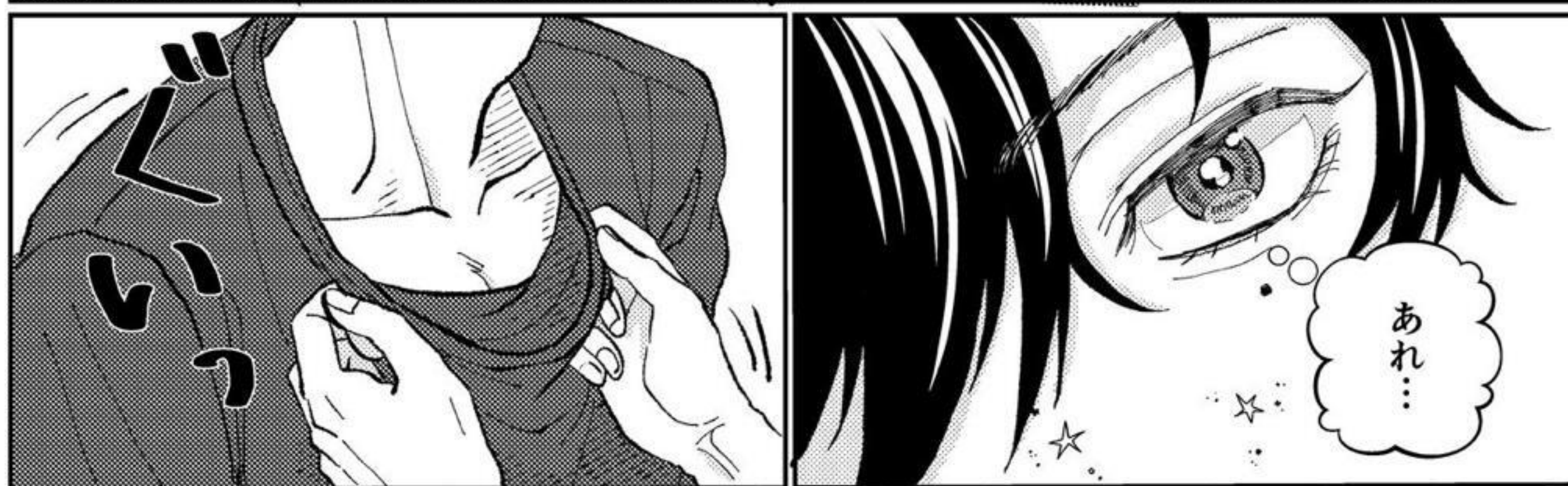
約束なんて

なぐたて。



香りって人の思い出を蘇らせる
誰かがそう言ってたっけ。









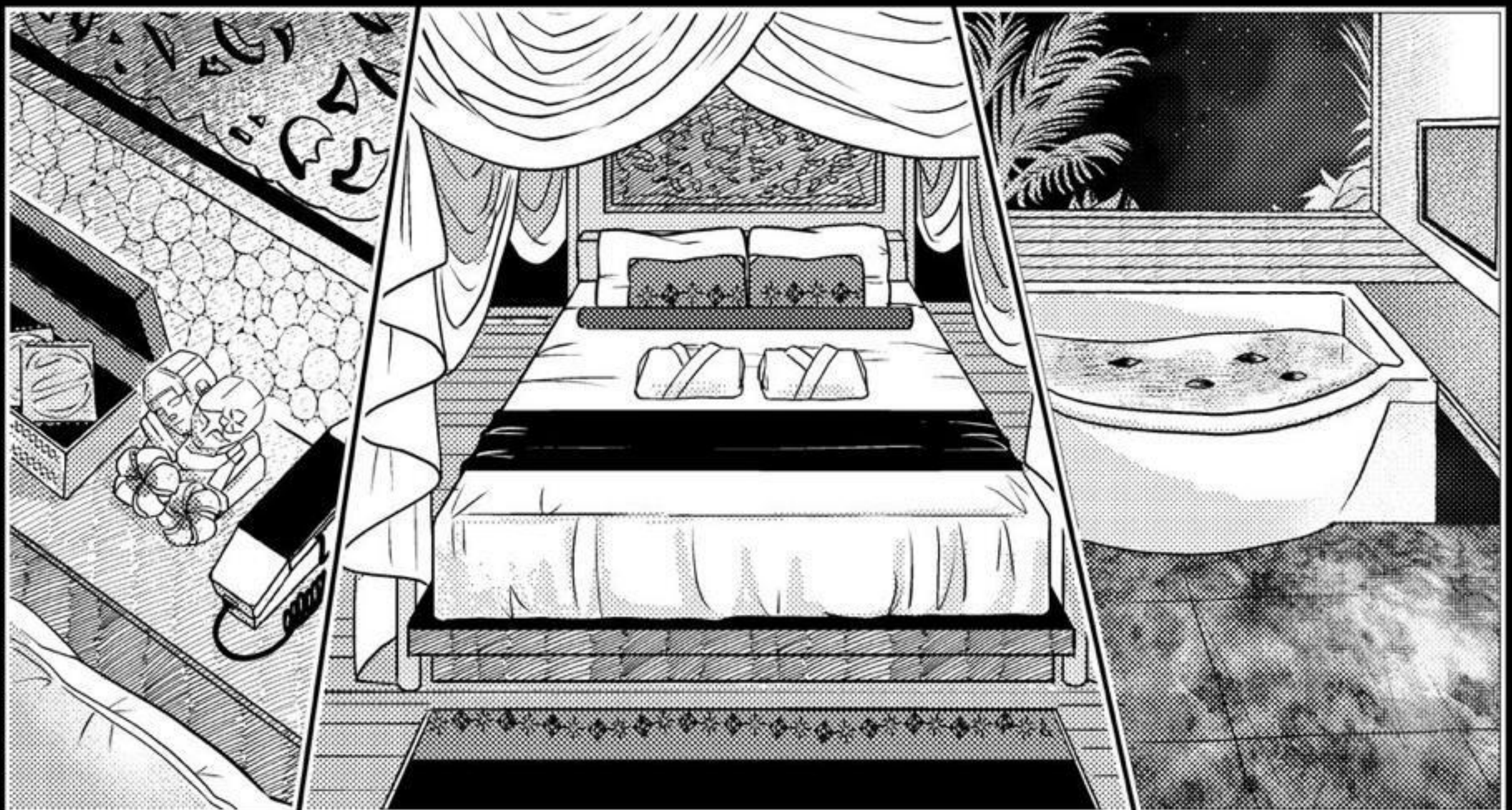


あれは確か
新生MCDが突然の
空中分裂になった後だったっけ

俺は左馬刻の傍でボロボロに泣いて
慰められた挙句に
とんでもなく女々しいお願いを
してしまったんだ

すげーすげー！

見てくださいよ！





マジで成り行きで
連れて来ちゃった…

ほか
ほか

ジャグジーの他に
露天風呂もありますよ！
あとで入りましょ！

おまえなあ
本当にここに連れ込まれた
意味わかってんだろ？

あんなガキの妄言に
付け込んでしまうくらいに

左馬刻さん
俺あんたに抱いて欲しい

違う…ごめん…
そんなつもりで言ったんじゃないで

だっ…おまえヤケクソで
気イ紛らわすために
俺様を使うんじゃないよ

左馬刻さんずっと一緒にいたいから

ずっと離れないって感じになる
繋がりがもって欲しい…

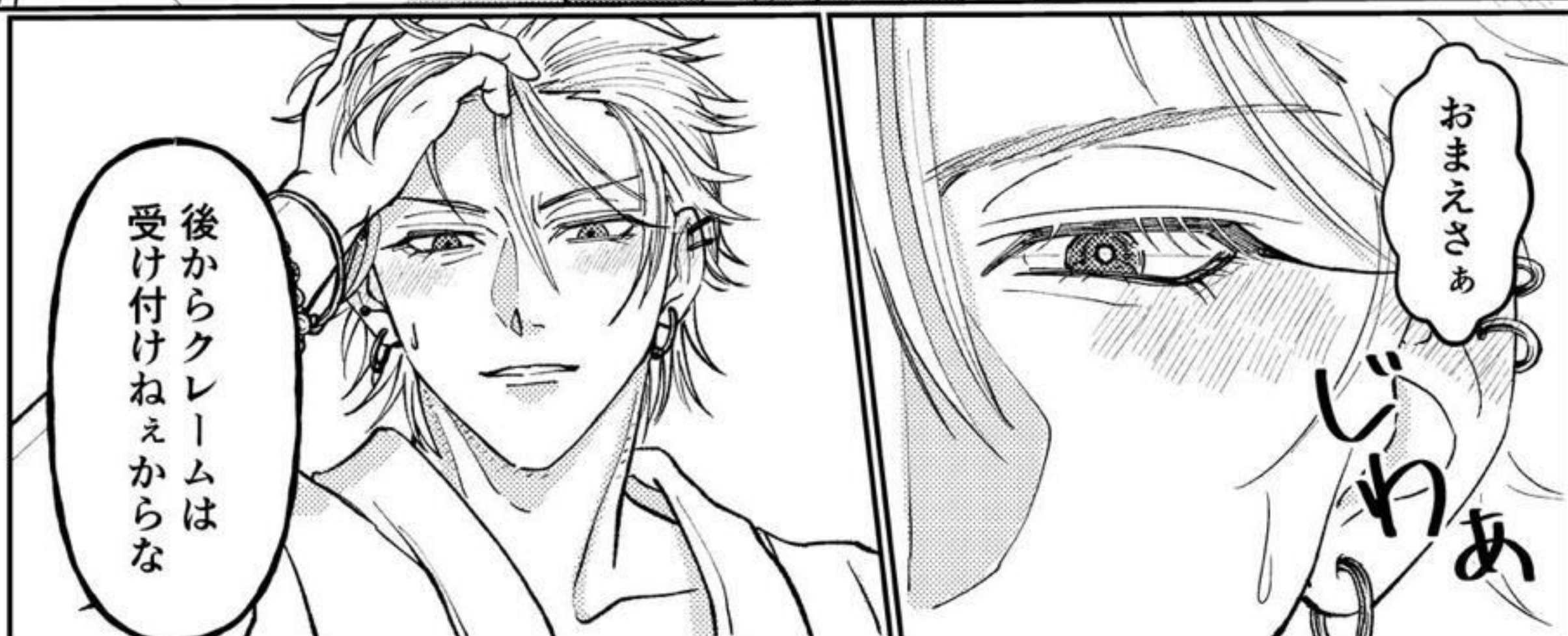
俺も精神的に参ってたって
事かも知れねえがよ





左馬刻さんとなら
嫌じゃない

…って言うか
嬉しい…です…俺っ



おまえさあ

じゅあ

後からクレームは
受け付けねえからな

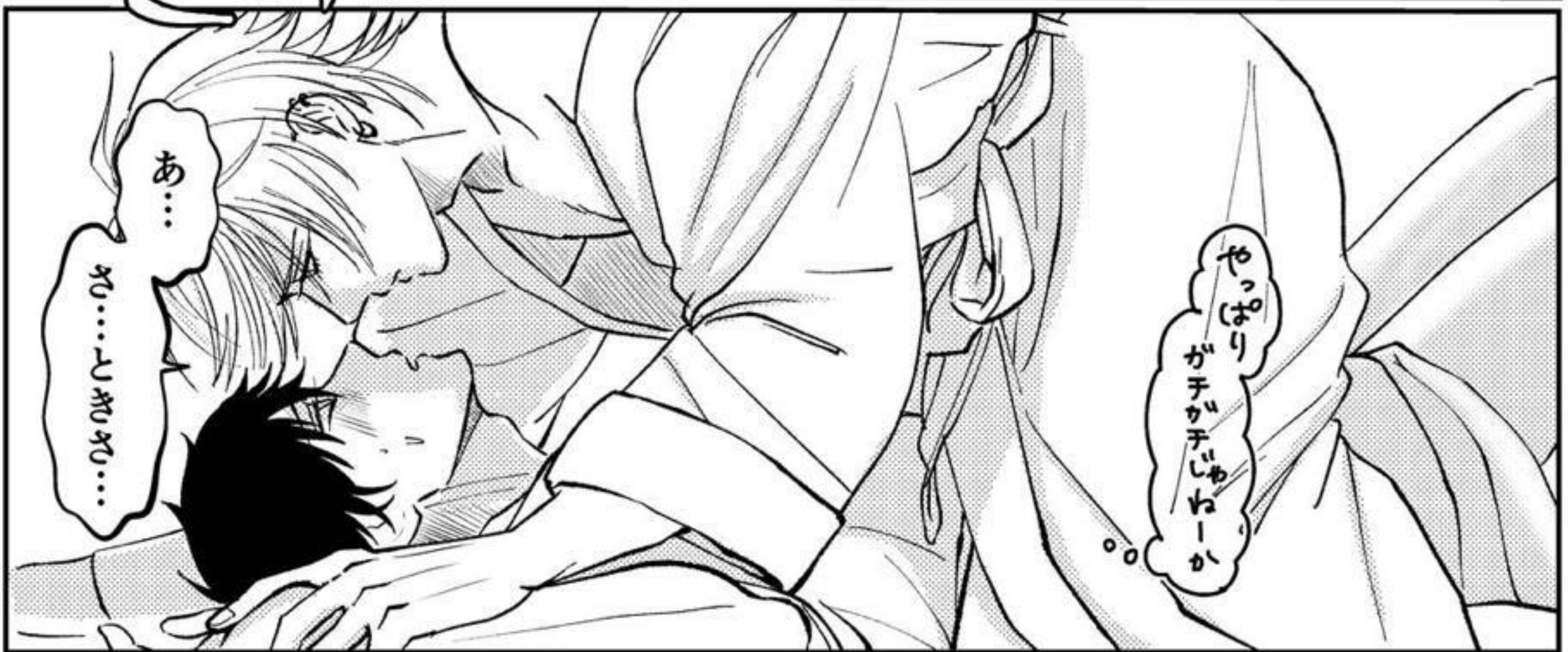


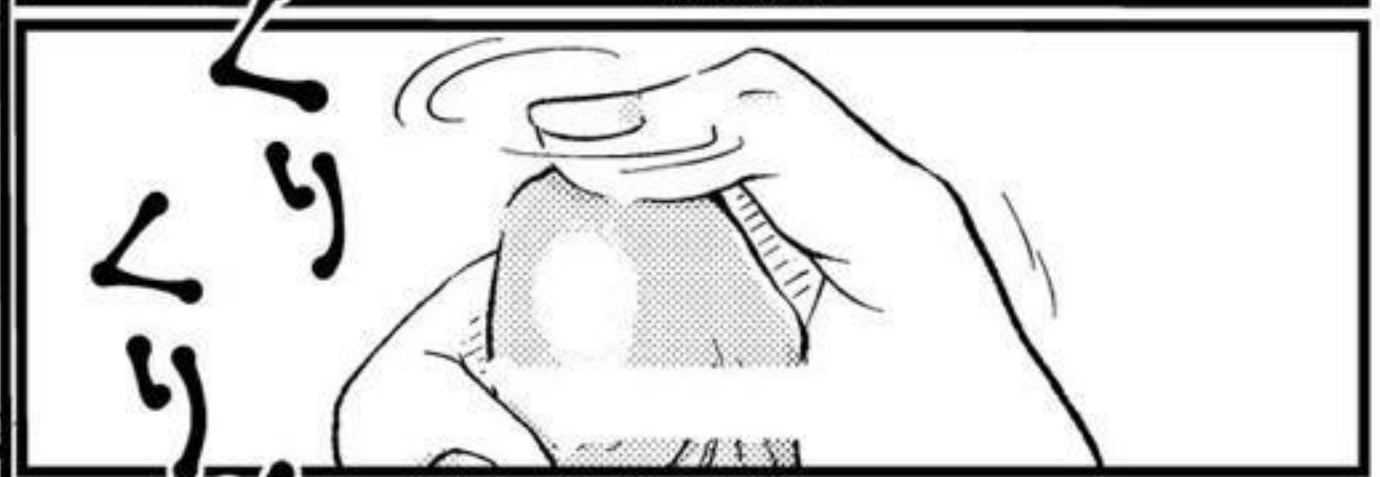
パイセンも

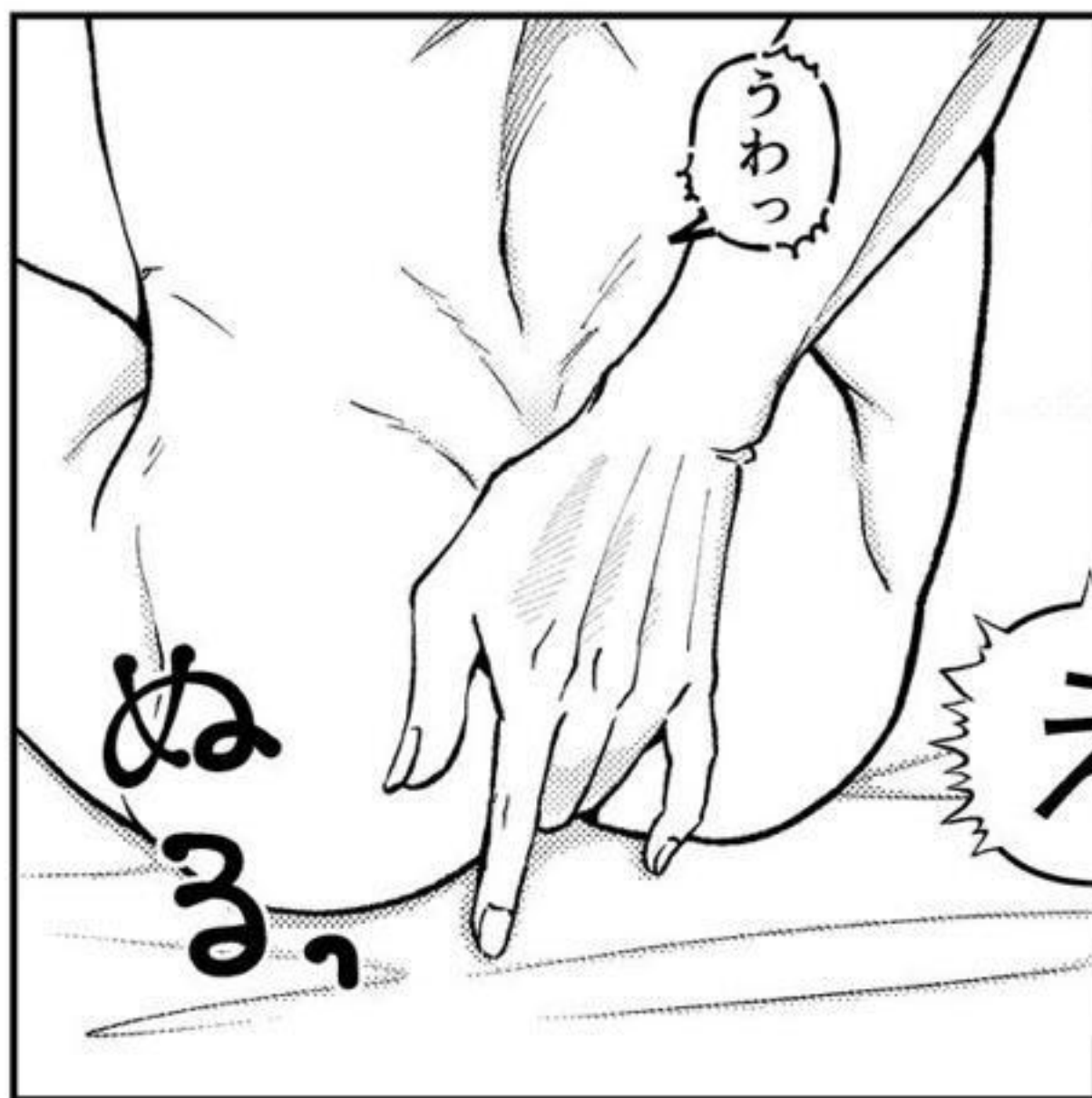
ノーリターンで
お願いします

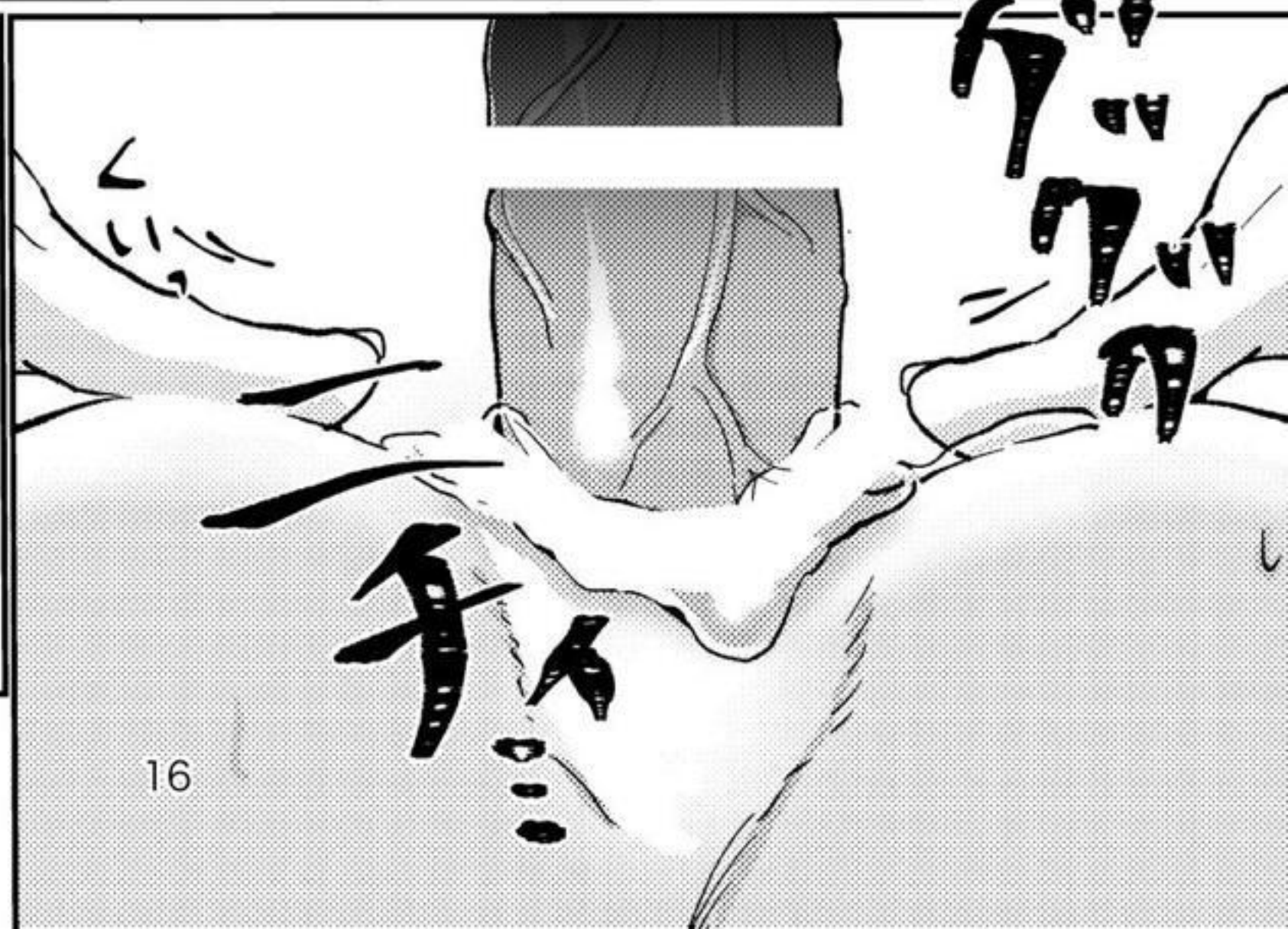


しゅ











ドン
ヤバイ
ドン

左馬刻さんのちんこが
俺の腹の中で
ドクドク脈打ってる…

繋がったところから
身体が溶けてくみだいだ

いちろ、動くぞ

ん
あ

ズ
レ
ッ

ふ
あ

はい
あ
い
は
あ
い

ん
ん
ん

あ
い
え

なんだよ
おまえ素質あるんじゃないか？

そうっすか？

よくわかんねえけど
左馬刻さんと相性良いなら
嬉しいや







あれ…
左馬刻さんの匂い

今日はタバコの匂いと…
香水の匂いと…
部屋の匂い？も混じって
すげえ良い匂いだな…

二人きりっすね

その日は結局
何回したか覚えてないくらい
セックスして(初めてだったくせに！)
疲れて手を繋いで寝たっけ

とやとうだう

どっちのミミはなーと

はは

おてんきな
ごすよな

オレも
あけよーかな

勝手にあけんなよ？

？

バカなガキと
チャライ男の

ありがちで恥ずかしい
約束と思われるかも
しれねーけど

その時、その瞬間
いつまでも傍に在りたいと
想い合っていたことは

誰が何と言おうが
揺るぎようの無い真実なんだ



集中しろよ

もっかい

まだまだ

いん

ちやいん

は

ん？何ため息
ついてるんだよ



わざわざ
このホテルに来てよ

おまえはさあ

あの時のこと
嫌な思い出じや
ねえのかよ



う〜ん
いがみあってた時は
確かに頭にき過ぎて
思い出そうとしたら
脳内エラーが出る案件
だったけどよ



あのとき...



いろいろあって蟠りも
完全にゼロってわけじゃねえけど

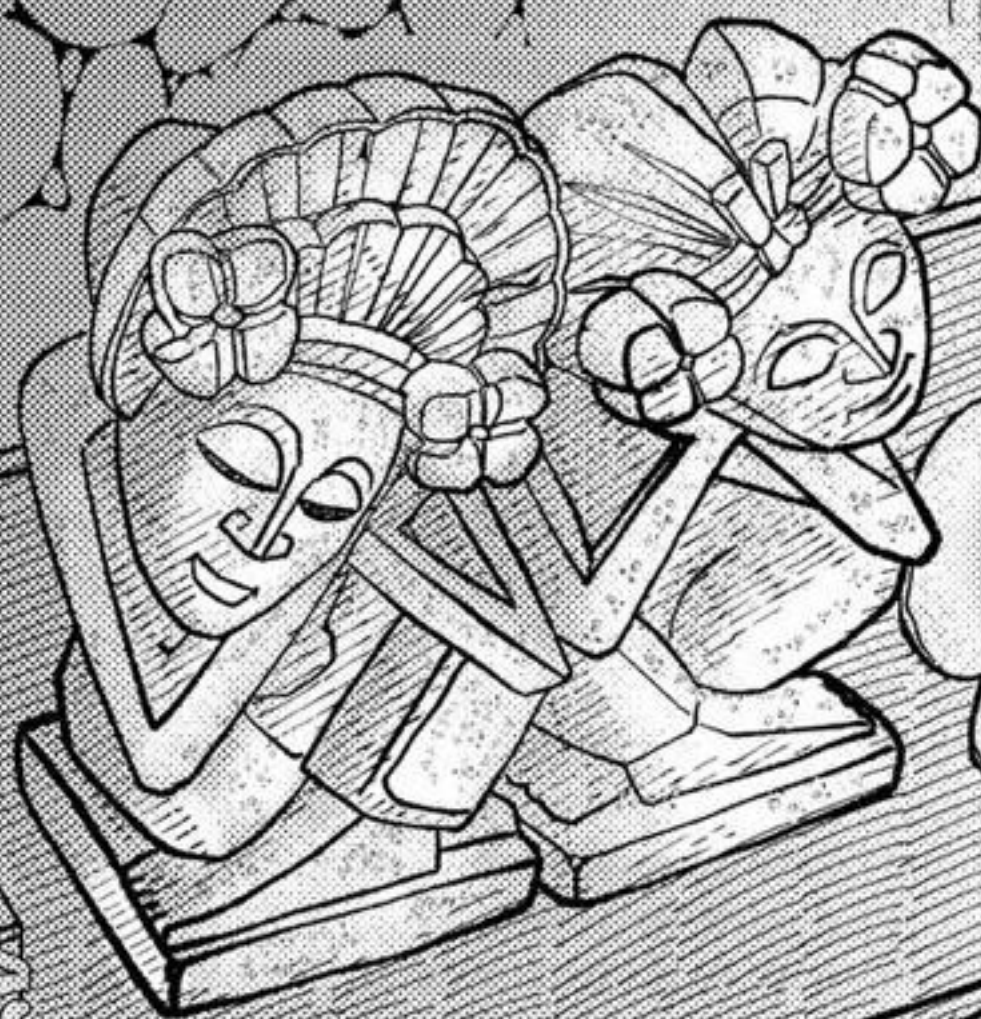
あんたは必死で関係を手繰り寄せて
今も傍にいてくれる

だからさ...
俺にとっては変わらず大事な
思い出だぜ



も—
何それ

プロポーズかよ！



親父がよ

大戦より前は
連れ合いやダチ同士で

気軽に海外旅行に
行けたっつってたな

ふ〜ん

今じゃ個人でビザとるのも
ひと苦労だったのにな

特に俺らみたいなのは

……俺様がいつか
本物のリゾート地に
連れてってやっからよ

合歓も弟どもも
一緒に

さまとき……

気持ち嬉しいけど
密航はちよつと……

おまえさあ

そーいうところだつてんだよ
誰が合歓連れてんなことするかよ

「そんな時代が来るまで一緒にせよ」的な
甘い言葉を吐こうとしただけの人